

登録コード	BSD91566	開講年度	2026				
授業題目	生体医工学特別実験 I (22BS以降)					担当教員	山口 昌樹
英文授業名	Advanced Experiments in Biomedical Engineering I					副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1年次生
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える健康・福祉・医療・創薬分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	専門学問分野における知識・技能を備え, それらを応用できる
(2)授業の概要	担当教員の専門分野に関して基本的な実験手法の解説を行い, 実験実習を通じて実際の手法を修得する。						
(3)授業計画	本実験は担当教員ごとに分かれた少人数グループにおいて実施するため, その内容は各担当教員が指定した計画に基づいて履修する。内容は修士論文テーマなどと連動している場合が多い。						
(4)成績評価の方法	実験実習への取り組み態度, レポートやプレゼンテーションの内容を総合的に判断して評価する。						
(5)成績評価の基準	修士研究に関わる実験, シミュレーションの進捗を, 先行研究や学術界の動向を踏まえて客観的に評価する。修士研究が実施されて複数の実験・シミュレーションデータなどを求め, 新規性, 進歩性, データの分析の力を測るプレゼンテーション, レポートで60点と判断されれば可。						
(6)事前事後学習の内容	研究計画, 先行研究調査, データの分析など。						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	オフィスアワー(平日10:00-17:00), 教員室(総研棟6F)にて質問, 相談を受け付ける。						
(9)その他	理論式や先行研究との比較研究を通して, 自らが行った実験・計算結果をを聴講者に説明するという形態をとることが多い。適切な説明をするためには相当量の調査と準備が必要になる。本演習を通じて自らの知識を深め広げること。参加メンバーに理解してもらうためのわかりやすい発表スキルを身につけること。どれだけ精力を注いで準備をするかによって, 学生諸君の知識と能力の向上に差が出ると言ってもよい						
【教科書】	研究テーマによって変わるため, 指定しない。						
【参考書】	研究テーマによって変わるため, 指定しない。						